

産業・技術委員会



平成28年3月18日(金) 広島市において、金井委員長をはじめ44名の出席のもと、産業・技術委員会を開催した。

当日は議事に先立ち、京都大学再生医科学研究所 教授 田畑泰彦氏より「再生医療に必要不可欠なモノづくり技術」と題してご講演をいただいた。引続き議事に移り、平成27年度活動実績および平成28年度活動方針(案)について審議を行い、原案どおり承認された。

【講演】

○演題

「再生医療に必要不可欠なモノづくり技術」

○講師

京都大学再生医科学研究所
教授 田畑 泰彦 氏



○要旨

- 再生医療とは、細胞の持つ自然治癒力を高めて病気を治す医療のことで、細胞を元気にして損傷組織や臓器を修復する「再生治療」と、将来の再生治療を支える細胞・創薬に関する「再生研究」の2つの分野がある。
- 両分野とも、細胞を元気づける薬物を体内の狙った部位に送り込むDDS(ドラッグデリバリーシステム)や、人工血管に代表されるバイオマテリアル(生体材料)技術、再生医療に必要な材料や道具の研究開発など、製造業が持つ知恵と技術が必要不可欠である。
- 再生医療の発展に向けて、モノづくり企業には、どんどん再生医療に挑戦して欲しい。とくに再生研究は再生治療に比べて厚生労働省の許認可が必要なく、莫大な開発費も必要としないことから事業化し易い分野であり、中小企業でも自社の技術力を活かせる可能性は高い。

【議事概要】

I. 平成27年度 活動実績

1. 地域産業発展の支援

(1) 産業振興

(2) 新規事業展開の促進

①成長分野にかかわるシリーズ講演会・視察会の開催

②調査事業の実施

(3) 経済・産業動向アンケート調査

2. 産学官連携

(1) 中国地域産学官コラボレーションシンポジウムの開催

(2) 産業用ロボット開発への支援

(3) 石油・液体燃料研究会の開催

(4) 膜分離研究会(中国地域国立5大学連携事業の推進)

(5) キャンパスベンチャーグランプリ中国の開催

II. 平成28年度 活動方針(案)

1. 「ものづくり産業」の基盤強化

- 産業用ロボットの導入・開発の支援
- 公的なスーパーコンピューターの導入支援
- 企業における多様なIT技術活用の支援
- 域内の経済・産業・社会動向等の把握
- マザー工場化の促進

2. 次世代を担う新たな産業創出

- 石油代替燃料の基礎研究の支援
- 膜分離技術の更なる活用促進
- 感性工学・医工連携促進
- 当連合会会員企業向けの成長分野視察会
- 中国地域コラボレーション会議による広域連携促進

3. 地域を支える産業人材の育成

- インターンシップ活性化
- 観光振興による地域創生に向けた人材育成
- 産業人材の育成
- キャンパスベンチャーグランプリ中国の開催

(担当: 田中)